

令和5年度 地方創生推進交付金事業 効果検証

I. 基本情報

事業名称	国際連携・企業連携による里山里海の活性化ステップアップ事業	総合戦略の位置づけ	※事業主体が石川県のため、町総合戦略における具体的な位置づけはされていない。 戦略1・2の関連事業として実施
事業期間	令和3年度～令和5年度	事業種別	広域
事業主体	石川県	担当課	農林水産課

II. 事業概要・KPI

R5年度事業概要	世界農業遺産「能登の里山里海」の保全・利活用による持続可能な能登地域の活性化を目指して、次世代の担い手となる人材育成に向けた取組や、国内認定地域と連携した価値の周知啓発と向上を図るプロモーションの実施等に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、佐渡や福井との子ども交流の実施、企業と連携したスタディツアーの開催等、世界農業遺産の魅力発信や理解促進を図った。（別紙参照）						
交付金対象事業費	事業費内訳						
1,200,000円	①世界農業遺産活性推進・魅力発信事業（町負担金）					1,200,000円	
交付金充当額							
600,000円							
重要業績評価指標（KPI）	当初値		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①農家民宿の年間利用者数	18,519人 ※H30.3月時	目標値	19,000	19,500	20,000		
		実績値	10,182	12,560			
②能登地域への観光入れ込み数	768万人 ※H30.3月時	目標値	80.8	85.8	91.0		
		実績値	40.0	54.2	61.1		
③製造業ノウハウ活用型先進的農業経営体数	28経営体 ※H30.3月時	目標値	32	36	40		
		実績値	50	59	59		
		目標値					
		実績値					

III. 効果検証

A. 地方創生への効果

検証者	評価値	具体的評価
町	C	能登地域内の高校生を対象とした生業体験や、佐渡・福井の子どもたちとの交流による学習会を実施したほか、能登地域における実践者と連携し県内大学生のフィールドワークや出前講座を開催し、能登の里山里海の保全・利活用による持続可能な能登地域の活性化を図った。
外部委員	A : 1名 B : 1名 C : 3名 D : 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定の佐渡・福井の子どもたちとの交流ができなかったこともあり、検証は難しい。 ・能登の海を活かした事業で、現地の方と連携し、活性化を図れた。 ・地震の影響で大変な中、よくやっていると思った ・機会を捉え、里山里海の活性化に努められていると感じた。アフターフォロー的な部分が見えればよいと考える。次年度への計画に生かせるか継続は力なりだと考える。 ・資料では佐渡・福井とも中止とある。・「能登町」に支店を絞ったとき、何人の高校生・住民がこの事業の良さを享受できたのか（非常に少ないのではないかと） ・子ども達との交流が中止となり残念ではあったが、能登町の魅力を発信して、能登町のファンを増やすことには一定の効果があったと思われる。

※評価値 A：非常に効果的であった B：相当程度効果があった C：効果があった D：効果がなかった

B. その他意見

検証者	意見
町	・地元と他の認定地域の子どもたちをつなぎ、それぞれの里山里海文化について理解を深めてもらったほか、長年受け継がれてきた生業を地元高校生に実際に体験してもらい、価値や魅力を感じてもらうなど、次世代の担い手発掘に向けた取組を実施した。
外部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続してほしい。 ・体験活動等を企画、実施していただくことは、大変だと思いますが、応募も多く、とても良い事業と思う。